



With コロナ

これからの住宅事情

50年先、100年先を考える

め、岐阜県下で活躍されて
いる数名の建築家を白川郷
に招き、白川郷の魅力につ
いて一晩中語り合っていた
いただいたことを今でも鮮明に
覚えています。

■ スイスの幻想

有名建築家ブルーノ・タ
ウト氏が白川郷を訪れた
時、白川郷のまち並み、暮
らし方、そして合掌造りな
ど全てが合理的で理論的で
もあると述べ、この集落は
日本的ではない、少なくとも
私がこれまで一度も見た
ことがない景色だ。ここは
スイスカ、さもないればス
イスの幻想だ、と高い評価
をしてくれました。

今や白川郷と言えば岐阜
を代表する観光地となつて

いますが、機会があればぜ
ひ白川郷を訪ね、飛騨の
匠の技と白川郷の素晴ら
しさを多面から体験してい
ただきたいと思えます。

生活スタイルの大変容
私は改めて岐阜県の先人
たちはすごいと感動しまし
た。建築物はその時代ごと
によって暮らし方、社会的
背景などで変化して
いくものです。戦後
日本の高度成長時代
は多くの若者が、都
会に夢と職を求め、
労働人口として日本
経済の礎を築きまし
た。そして都会では
田畑をつぶし、時に
は山を切り開き、多
くの住宅が建てられ
ました。その家はほ
とんどが質よりも利
便性が重んじられて
きました。



建築家ブルーノ・タウト氏が「合掌
造りも暮らし方も理論的でスイス
の幻想だと絶賛した白川郷」太
野郡白川村荻町

今日低迷を続ける

日本経済に追い打ちをかけ
るよつに新型コロナウィル
スがまん延し、企業におい
ては在宅ワーク、学生にお
いてはオンライン授業、医
療においてもオンライン診
療など、さまざま分野に
おいてIT関係の技術が生
活のスタイルを変えよつと
しています。例えばヨーロ
ッパにおいては週休4日制
をとるIT関係の会社が増
えています。この波は日本
にも来ると思われますし、
現実にもそのような兆候をあ
ちらこちらで耳にする機会
が多くなりました。

■ 未来を見据え

若者は生活の質を追い求
めて田舎に移住を始め、新
しい4次産業が着実に伸び
ています。これを経済学者
で哲学者でもあるヘーゲル
氏いわく、「螺旋的経済発
展」。つまり単なる田舎暮

らしではなく、IT産業が
時代を変えていくんだと思
います。家造りは今を見る
のではなく、50年先、10
0年先を考えることが大切
だと思えます。まさしく新
しい形のスローハウス時代
の到来です。

(一般社団法人「日本の
山の恵みを生かす会」代表
・吉田和弘)

△8月1日掲載します▽
よしだ・かずひろ 1995
9年3月、三
重県大台町生
まれ、愛知県
豊山町在住。
40年の建設開



連会社勤務の間、代表作「ス
ローハウスシリーズ」など、
木造住宅とエネルギーの関連
をテーマに書籍編集・出版に
携わった。一昨年、一般社団法
人「日本の山の恵みを生かす
会」を立ち上げ、次世代の住宅
・エネルギーについて、活動の
具現化に努めている。